

ザンビア政治・経済月報(2015年2月)

主な出来事

【内政】

- ・3日, ルング大統領はムワナカトウエ商業貿易産業副大臣等一部閣僚を任命。
- ・12日, ルング大統領はルビンダ農業畜産大臣等一部閣僚を任命。

【外政】

- ・12日から14日にかけて, ルング大統領はアンゴラを訪問。
- ・24日, ルング大統領は南アを訪問。
- ・25日から26日にかけて, キクウェテ・タンザニア大統領がザンビアを訪問。
- ・28日, ムタリカ・マラウイ大統領がザンビアを訪問。

【経済】

- ・ザンビア政府は, 新鉱山税制(鉱山採掘権税)は旧税制下での不正行為に対処するために策定されたものであるため, 同税制を維持する旨述べた。チクワンダ財務大臣は新税制モデルに変更はなく, ザンビアの人々の利益となるものであると述べた。
- ・ルング大統領は, 2014年に改定された外交政策をもとに, ザンビアは引き続き経済協力の強化及び貿易投資の促進に資する外交政策を積極的に追求すると述べた。
- ・ザンビア中央銀行は, ザンビアの2014年経済成長率は6.0%と発表。この数値は, 2013年の経済成長率である6.7%から減少したが, 昨年12月にIMFが予測した5.5%を上回った。

* PF: 愛国戦線(与党), MMD: 複数政党制民主主義運動(第1野党), UPND: 国家開発統一党(第2野党)

* タイムズ、デイリーメールは国営。ポスト、デイリーネーションは民営。

【内政】

- ・3日, ルング大統領はムワナカトウエ商業貿易産業副大臣等一部閣僚を任命。(4日, タイムズ, メール, ネーション)
- ・4日, ルング大統領はムパカPF中央委員会メンバーをPF選挙対策議長に任命。(5日, ネーション)
- ・8日, 最高裁は, コッパーベルト州マサイティ選挙区につき, 2011年総選挙の結果を無効とする判決を下した。(9日, メール)
- ・PFとMMDは連携に向けた話し合いを行っている。(11日, メール)
- ・11日, ルング大統領は大統領府において外交団を対象とした新年祝賀会を開催。(12日, メール)

ル)

- ・12日、ルング大統領はルビンダ農業畜産大臣等一部閣僚を任命。(13日、タイムズ、メール、ネーション)
- ・13日、「ザンビア国民による憲法を実現するための大連合」は政党「良きザンビアのための同盟」を除名。(14日、ポスト)
- ・16日、ルング大統領は各省副大臣を任命。(17日、タイムズ、メール、ネーション)
- ・17日、チャマPF事務総長は、MMD内での意見の相違により、PFとMMDとの連携に関する話し合いが滞っている旨発言。(18日、ポスト)
- ・18日、国家再生党等が「ザンビア国民による憲法を実現するための大連合」から離脱。(19日、ネーション)
- ・19日、最高裁は、北部州センガヒル選挙区につき、2011年総選挙の結果を無効とする判決を下した。(20日、メール)
- ・21日、スコットPF副党首は副党首職を解任された。(22日、ネーション)
- ・25日、選挙管理委員会は、4月14日にルサカ州チャワマ選挙区等、3選挙区の補欠選挙を行うことを発表。(26日、メール)

【外政】

- ・12日から14日にかけて、ルング大統領はアンゴラを訪問。(15日、タイムズ、メール)
- ・24日、ルング大統領は南アを訪問。(25日、タイムズ、メール)
- ・25日から26日にかけて、キクウェテ・タンザニア大統領がザンビアを訪問。(27日、タイムズ、メール)
- ・28日、ムタリカ・マラウイ大統領がザンビアを訪問。(29日、タイムズ、メール)

【経済】

- ・米国の投資顧問会社、フロンティア戦略グループ(FSG)は、ザンビア政府の社会経済改革により、ザンビアの経済成長率は7%になると予測した。一方で、同社は、サハラ以南アフリカ全体では、格差拡大、財政赤字の悪化、主要な選挙の実施及び原油価格の下落を背景に、為替の不安定さは増すだろうと述べた。(2日、メール)
- ・ザンビア政府は、新鉱山税制(鉱山採掘権税)は旧税制下での不正行為に対処するために策定されたものであるため、同税制を維持する旨述べた。チクワンダ財務大臣は新税制モデルに変更はなく、ザンビアの人々の利益となるものであると述べた。(6日、タイムズ)
- ・ルング大統領は、政府のみでは人々のニーズに応えきれないため、民間セクターは開発への参加を高めなければならない旨発言した。大統領は、繁栄への道を築くにはすべての利害関係者が協調して取り組む必要があると述べた上で、国家を繁栄へと導くためのアイデアを歓迎し、そのアイデアを政府及び民間企業に売り込んでほしいと呼び掛けた。(7日、メール)
- ・ザンビア鉄道社(ZRL)は、枕木の安定的な供給を目指して、枕木を製造するための官民連携

(PPP)パートナーを募集している。アタンガ ZRL 社長は、高い輸入コストを下げるために PPP に乗り出したいと述べた。(10日, メール)

- ・ルング大統領は、2014年に改定された外交政策をもとに、ザンビアは引き続き経済協力の強化及び貿易投資の促進に資する外交政策を積極的に追求すると述べた。(12日, メール)
- ・今年、ザンビア債権デリバティブ取引所(BaDex)は、国際的な動きに合わせて、店頭(OTC)デリバティブに関するG20の公約を採択すべく、ザンビアの金融市場に働きかける予定である。(16日, メール)
- ・チマンセ・ザンビア開発庁(ZDA)広報担当官は、セレンジェ郡のナンサンガ農業特区11, 921ヘクタールの土地のインフラを整備すべく、政府と共同出資できる民間投資家を募集している旨発表した。(18日, タイムズ)
- ・ザンビア中央銀行は、ザンビアの2014年経済成長率は6.0%と発表。この数値は、2013年の経済成長率である6.7%から減少したが、昨年12月にIMFが予測した5.5%を上回った。(19日, ポスト)
- ・ムワナカトウェ商業貿易産業大臣は、投資促進とビジネス成長に資するビジネス環境を提供するために、不要な認可を削減する11法案を、今年6月までに議会に提出する旨発表した。(21日, タイムズ)